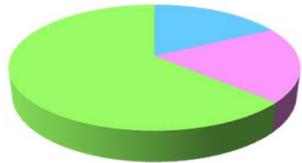
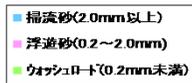


1) 事業の目的

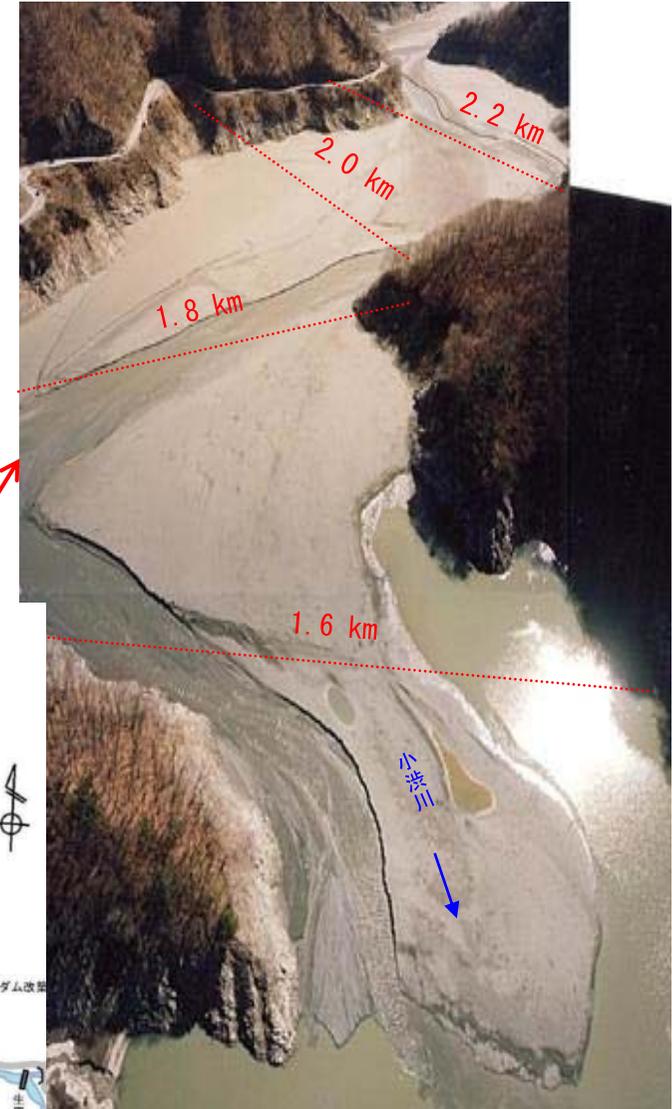
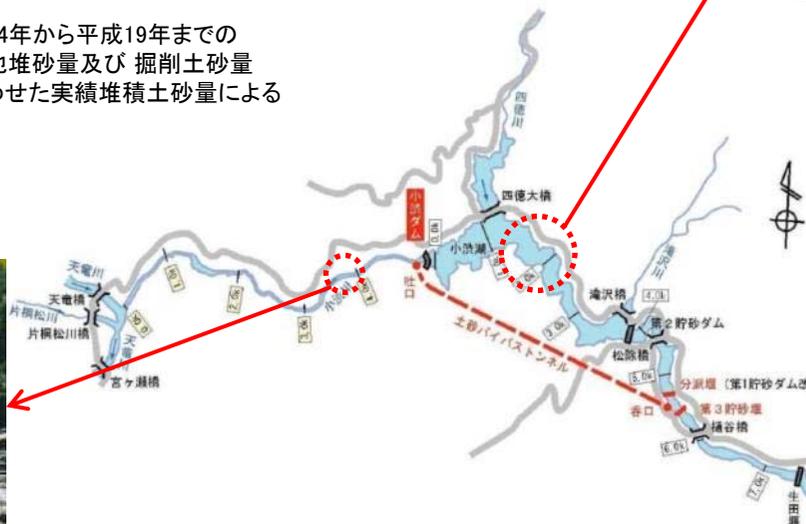
事業の目的	貯水池への土砂流入を抑制するとともに、ダム地点における土砂移動の連続性を確保する。
対象土砂	掃流砂、浮遊砂、ウォッシュロード
事業期間	平成12年度～平成28年度試験運用開始予定
事業費	約144億円（予定）
事業内容	・土砂バイパストンネル ・第3貯砂堰 ・分派堰（既設第1貯砂堰改良）



※昭和44年から平成19年までの貯水池堆砂量及び掘削土砂量を合わせた実績堆積土砂量による



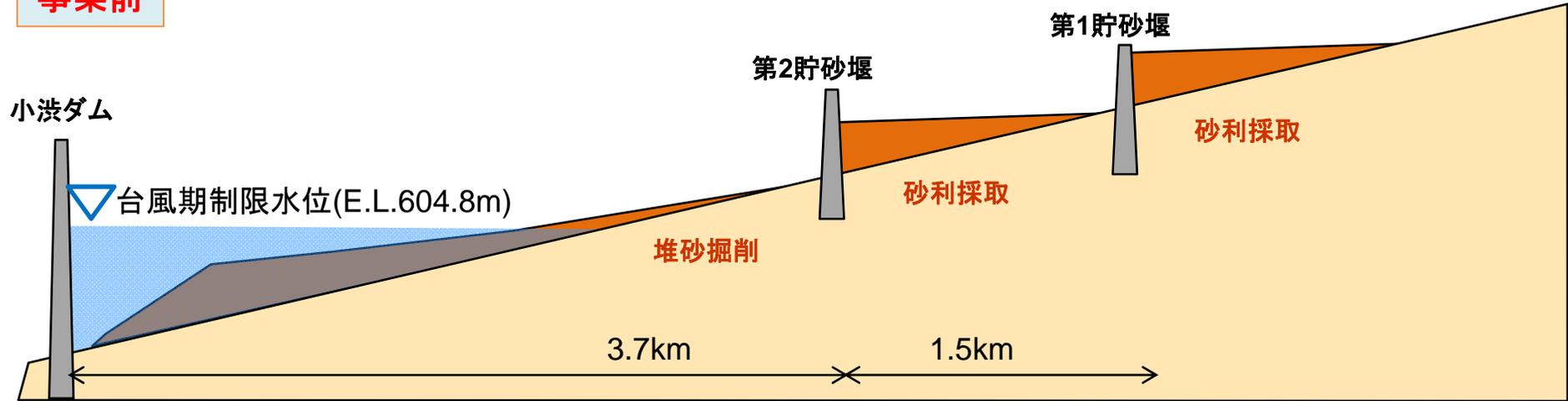
下流河道の様子



ダム湖堆砂状況
【貯水位EL591.0m】

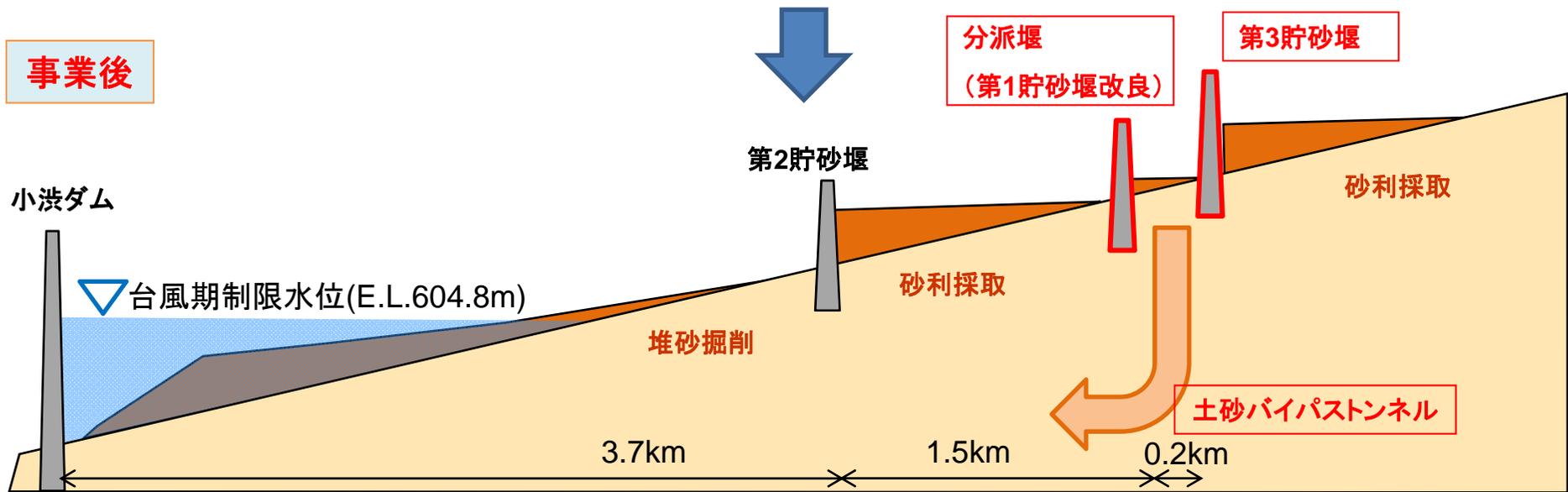
1) 事業の目的

事業前



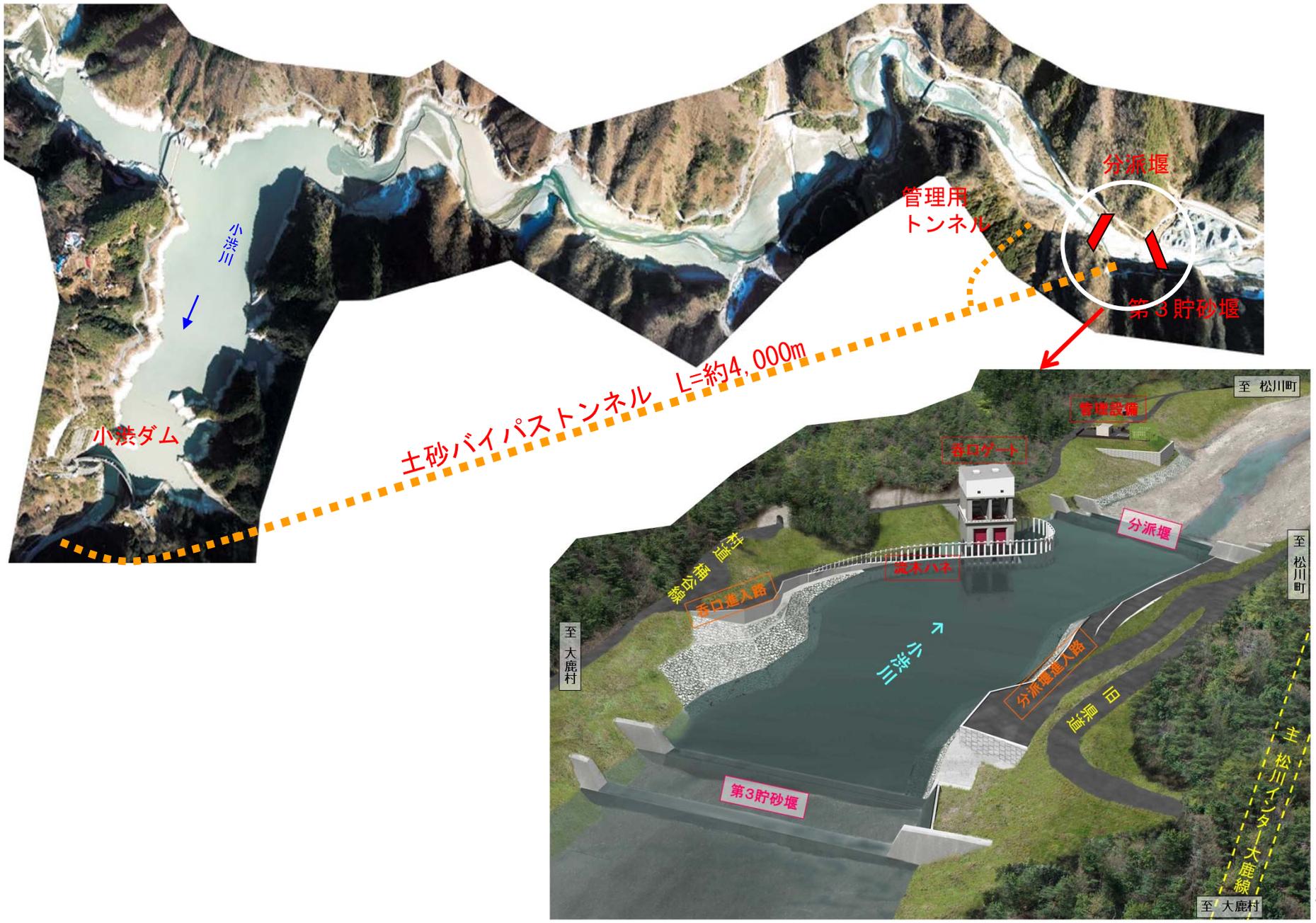
小渋ダム土砂バイパストンネル事業前

事業後



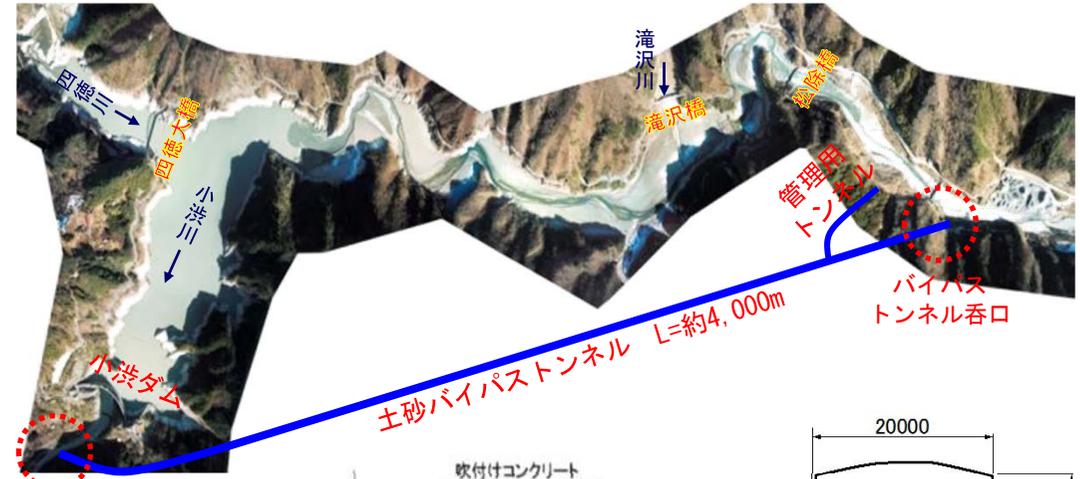
小渋ダム土砂バイパストンネル事業後

2) 土砂バイパストンネル事業の概要

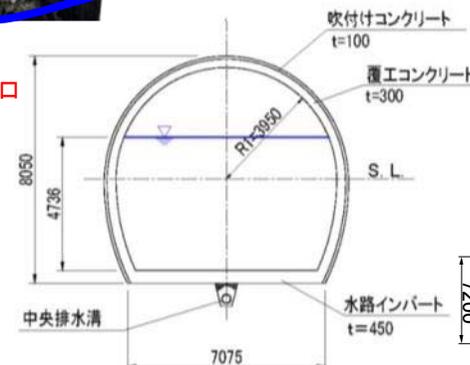


3) 施設概要:土砂バイパストンネル

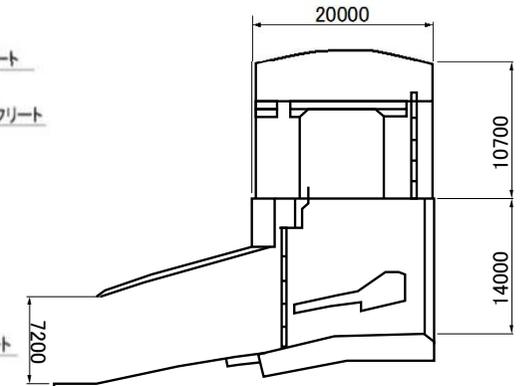
土砂バイパストンネル 構造諸元		
小渋ダム		(参考)美和ダム
断面形状	標準馬蹄型 R=3.95m 内空約54m ²	標準馬蹄形 R=3.90m 内空約47m ²
縦断勾配	1/50	1/100
全長	約4,000m	約4,300m
設計対象流量	370 m ³ /s	300m ³ /s
対象土砂	掃流砂、浮遊砂、 ウォッシュロード	ウォッシュロード



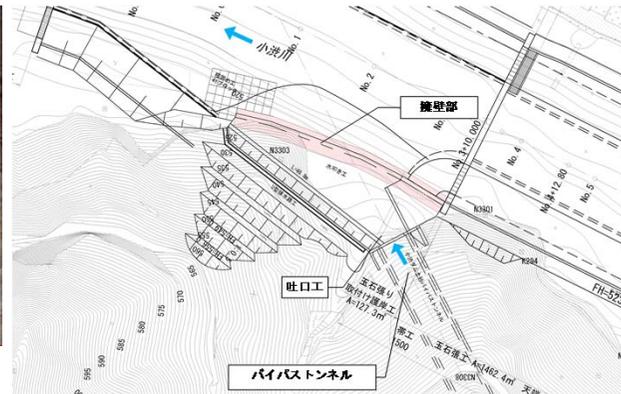
バイパストンネル吐口



バイパストンネル断面図



呑口側面図

土砂バイパストンネル吐口
(平成25年11月)

吐口平面図

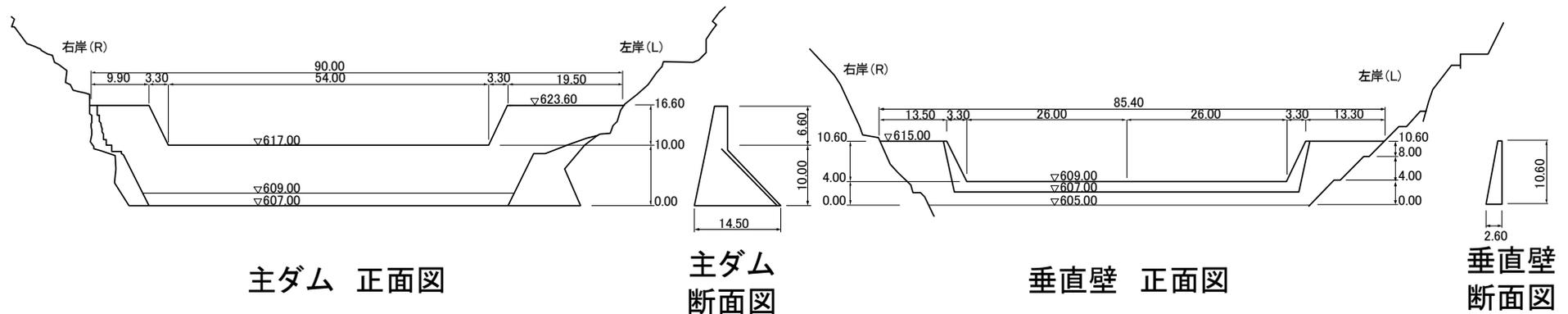
土砂バイパストンネル呑口
(平成26年5月)

3) 施設概要: 第3貯砂堰

第3貯砂堰 概要			
型式	重力式堰堤	堤頂長	90m
計画貯砂量	210,000m ³	構造	コンクリート 約10,000m ³
計画貯砂勾配	1/58.5	完成年	平成18年度
堤高	10.0m		



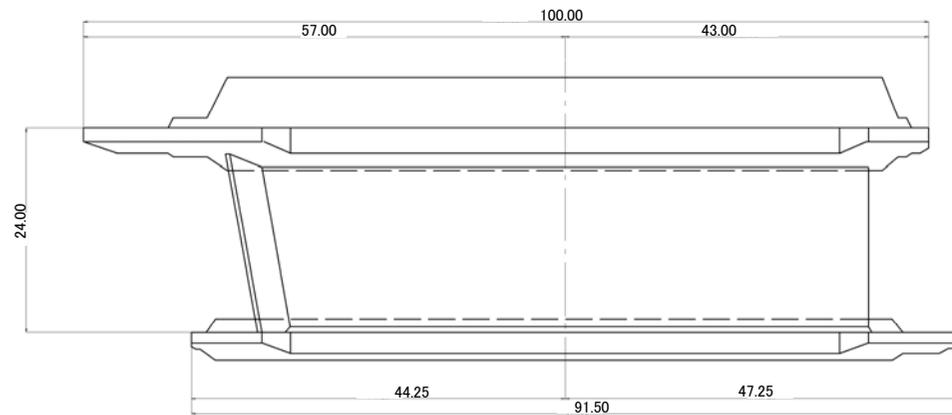
第3貯砂堰写真(平成21年3月)



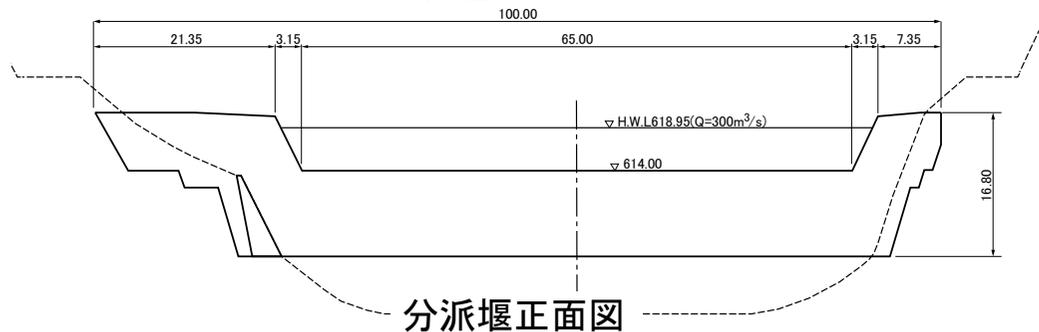
3) 施設概要:分派堰(第1貯砂堰改良)

分派堰(第1貯砂堰) 概要

最大越流量	1,300m ³ /s	施設高さ	20.30m(改良)
計画貯砂量	210,000m ³	主ダム 副ダム間距離	24.00m
敷高	EL604.0m	排砂口敷高	EL607.0m(改良) 3.00×3.00m(改良)
越流天端高	EL614.0m	構造	無筋コンクリート(既設) 鉄筋コンクリート(改良) 約9,000m ³
最大 越流水深	4.95m	ゲート	2門(改良)



分派堰平面図



分派堰正面図



分派堰
(第1貯砂堰改良)

第3貯砂堰

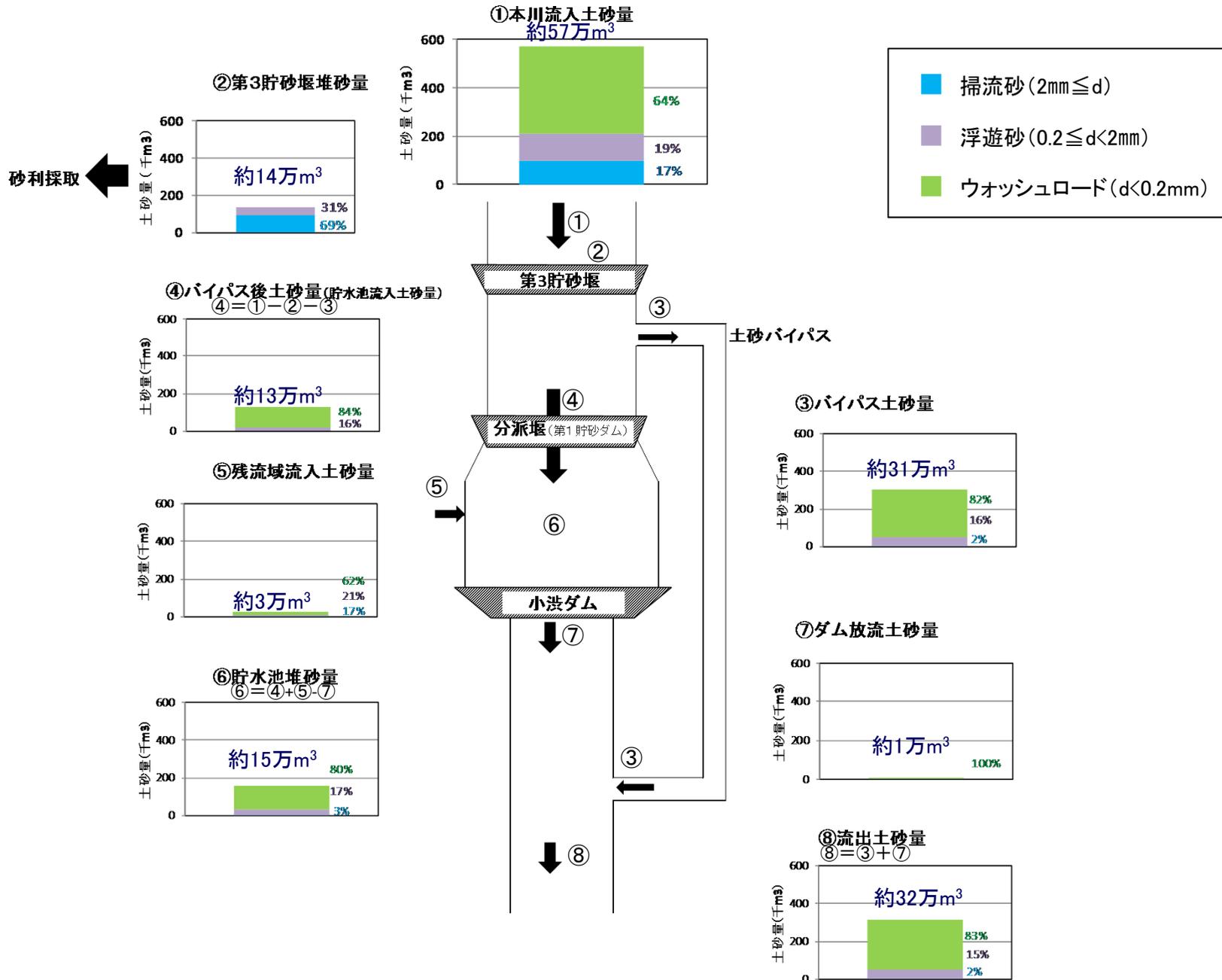
BPTトンネル

分派堰(建設予定)(平成26年5月)



分派堰横断面図

4) 土砂量の試算(バイパス運用後)



5) バイパス土砂量の試算(バイパス運用後)

